

#### (4) 情報メディア教育支援センター

##### ① センター

###### ア 設置の趣旨（目的）及び組織

情報メディア教育支援センターは、本学の情報システム及び学内情報ネットワーク並びに情報セキュリティの円滑な管理・運用を図り、教育・研究・管理・運営業務等に資するほか、情報教育を総合的に推進するために設置されており、センター長、センター配置教員（兼務3人）、その他必要な職員で構成されている。

###### イ 運営・活動の状況

令和3年度における主な運営・活動状況は以下のとおりである。

###### i) センターの機能・業務内容の充実に関する取組

センターの機能・業務内容の充実に関して意見交換を行うとともに、意思の疎通を図ることを目的として、センター長、センター兼務教員（3人）及び職員（3人）によるスタッフ会議を開催（令和3年度は1回開催）した。

###### ii) 教育の情報化推進に係る取組

令和2年度はオンデマンド動画配信で行った情報セキュリティ講演会及びノートパソコン準備講習会について、感染症対策のため人数制限をかけながら従来どおり対面で実施した。授業への円滑な参加を促すため、新入生には学内ネットワークへの接続や学内システムの利用方法等について指導した。また、すでに遠隔授業が定着していることから、各教員に対して遠隔授業用のソフトのライセンスを配付するとともに、新入生には遠隔授業用ソフトのインストール方法を指導した。

###### iii) 情報セキュリティ対策の強化

令和2年度にサポート詐欺等により金銭的な被害にあった者が出たことから、学内へのセキュリティに関する情報発信の回数を増やすなどの対策に力を入れた。

###### iv) キャンパス情報システムの更新

令和2年3月より運用を開始した現行のキャンパス情報システムの安定的な運用に努めるとともに、委員会等で更新の方向性を検討した。

###### v) ギークラボ上越の開催

21世紀型スキル育成の一環として、地域の子どもを主な対象とした、プログラミングやデジタルものづくり等のICTスキルに関する教育や体験活動プログラムを提供している。令和2年度より新型コロナウイルス感染症の流行により対面での実施が困難になったことから、オンラインで開催しており、令和3年度は計16回実施した。

###### ウ 優れた点及び今後の検討課題等

各種学内システムを内包していた仮想環境構築サーバを老朽化により停止させることになったが、大きなトラブル等は発生せずにシステム移行ができた。

引き続き学内ネットワーク環境の安定した維持を図るとともに、遠隔授業等に関する情報発信や各種情報セキュリティの啓発を推進する必要がある。また、令和4年度中に接続先SINETデータセンターの変更や接続回線増速（10Gbps化）を予定しており、トラブルが無いように進めて行く必要がある。

## ② 運営委員会

### ア 設置の趣旨（目的）及び組織

#### i) 組織設置の趣旨（目的）

センター長の諮問に応じ、情報メディア教育支援センターの運営に関する重要事項を審議するため、情報メディア教育支援センター運営委員会が設置されている。

#### ii) 組織の構成及び構成員等

センター長、センター兼務教員、各学系から選出された教員等で構成されている。

### イ 運営・活動の状況

#### i) 委員会等の開催状況

令和3年度は、対面1回、オンライン1回及び書面審議2回の計4回開催した。

#### ii) 審議された主な事項

- ・2022年度情報メディア教育支援センター開館計画
- ・委員会規程改正
- ・新入生斡旋ノートPCの選定
- ・第3期及び第4期中期計画・中期目標関係
- ・サイバーセキュリティ対策等基本計画
- ・SINET6への移行
- ・キャンパス情報システムの更新

#### iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

特にキャンパス情報システムの更新にあたり、委員から各学系の意見を取りまとめてもらい、今後の方針に反映させることができた。